



## 平成30年産特産果樹の生産概況

### 1 気象の概要

五戸（りんご研究所県南果樹部）での積雪は、2月から多くなり、今冬の最深積雪深は2月18日の45cmであった。3月に入り気温が高めだったこともあり、消雪日は平年より6日早い3月15日であった。気温は、4月が平年より高く、5月上旬が低く、6月中旬がかなり低く、7月下旬が猛暑、8月上中旬が低かった。特に8月第2半旬の最高気温は20.6℃で平年より6.8℃低かった。降水量は、4月から雨が多く、4月から10月までの間では、6月と10月を除いて平年よりも多かった。特に5月第4半旬は142.0mm（平年11.0mm）、9月第2半旬は79.5mm（同26.3mm）であった。日照時間は、全般的に平年より多く、特に7月下旬は100.3時間（同49.4時間）と平年の倍以上となった。

黒石（りんご研究所）での積雪深は、平成29年12月までは平年を上回ったものの、年明けからは概ね平年並から平年を下回って推移した。最深積雪は2月25日の75cm（平年97cm）で、消雪日は平年より10日早い3月19日であった。

気温は、4月下旬が高く、6月中旬が低温、7月中下旬が猛暑、8月上中旬が低温、10月から11月中旬が高温と変動が大きかった。降水量は、4月から雨が多く、4月から10月までの総降水量984mmは平成元年以降では第1位に多い年であった。日照時間は、6月11日の梅雨入り後から7月20日までの梅雨明けまでが平年比68%と少なく、7月下旬、9月中旬、10月中旬及び11月上中旬以外は平年より少なかった。

### 2 主要果樹の生育経過等

#### (1) ぶどう

##### 【キャンベル・アーリー（無加温ハウス）】

##### ア 生育ステージ

発芽日は、五戸（りんご研究所県南果樹部）で平年より6日早い4月10日、三戸（県生育観測ほ）で2日早い4月3日であった。開花日は、五戸で平年より3日遅い5月31日、三戸で2日遅い5月15日であった。

着色日は、五戸で平年より5日遅い8月5日、三戸で5日遅い7月21日であった。収穫始めは三戸で平年より2日遅い8月4日であった。

##### イ 作柄

10a当たりの房数及び房重ともに平年を上回ったことから、7月30日時点での10a当たりの推定収量は、平年を上回る3,202kgと見込まれた。

##### ウ 病害虫の発生状況

褐斑病が一部園地でやや多かった。

## 【キャンベル・アーリー（露地）】

### ア 生育ステージ

発芽日は、五戸（りんご研究所県南果樹部）で平年より6日早い4月23日、三戸（県生育観測ほ）で4日早い4月21日であった。開花日は、五戸で平年より1日早い6月19日、三戸で8日早い6月6日であった。

着色日は、五戸で平年より8日早い8月13日、三戸で3日早い8月11日であった。収穫始めは、三戸で平年より1日早い9月3日であった。

### イ 作柄

10a当たりの房重が平年並みであったが、房数が平年を下回ったことから、7月30日時点での10a当たりの推定収量は、平年を下回る2,100kgと見込まれた。

### ウ 病害虫の発生状況

全般に少なかった。

## 【スチューベン】

### ア 生育ステージ

発芽日は、黒石（りんご研究所）、弘前（県生育観測ほ）ともに平年より4日早い4月25日、鶴田（県生育観測ほ）で6日早い4月25日であった。開花日は、黒石で平年より3日早い6月15日、弘前で1日遅い6月18日、鶴田で平年と同じ6月20日であった。

着色日は、黒石で平年より10日早い8月17日、弘前で4日早い8月23日、鶴田で5日早い8月24日であった。収穫始めは、弘前で平年より2日早い9月29日、鶴田で平年と同じ9月27日であった。

### イ 作柄

10a当たりの房数及び房重ともに平年を上回ったことから、8月30日時点での10a当たりの推定収量は、平年を上回る2,119kgと見込まれた。

### ウ 病害虫の発生状況

べと病の発生が9月に入ってから葉に散見された。

## (2) おうとう

### 【佐藤錦】

#### ア 生育ステージ

発芽日は、五戸（りんご研究所県南果樹部）で平年より4日早い4月19日、弘前（県生育観測ほ）で4日早い4月20日、南部町（県生育観測ほ）で3日早い4月17日であった。開花日は、五戸で平年より5日早い4月27日、弘前で4日早い4月28日、南部町で7日早い4月22日であった。

着色日は、五戸で平年より2日早い6月13日、弘前で1日早い6月12日、南部町で2日早い6月11日であった。収穫始めは、弘前で平年より3日遅い6月27日、南部町で3日早い6月20日であった。

イ 着果状況

一花束状短果枝当たりの着果数は、全体的に平年を大きく上回り、県南地域が3.07果（平年1.76果）、津軽地域が3.13果（同1.95果）であった。

ウ 病害虫の発生状況

全般に少なかった。

(3) もも

【川中島白桃】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸（りんご研究所県南果樹部）で平年より5日早い4月13日、黒石（りんご研究所）で2日早い4月20日、平川（県生育観測ほ）で3日遅い4月20日であった。開花日は、五戸で平年より6日早い4月30日、黒石で4日早い5月1日、平川で2日早い4月29日であった。

収穫始めは、平川で4日早い8月29日であった。

イ 果実肥大

最終調査時の横径は、五戸が8月20日時点で7.1cm（平年比108%）、平川が9月1日時点で8.5cm（同104%）であった。

ウ 病害虫の発生状況

せん孔細菌病が多かった。

(4) 西洋なし

【ゼネラル・レクラーク】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸（りんご研究所県南果樹部）で平年より6日早い4月6日、南部町（県生育観測ほ）で6日早い4月2日であった。開花日は、五戸で平年より6日早い4月29日、南部町で3日早い4月30日であった。

イ 結実状況

結実量は、園地によるバラツキが見られたが、概ね標準着果量を確保できた。

ウ 果実肥大（横径）

五戸における6月10日時点の横径は、2.7cm（平年比129%）であった。その後、肥大は鈍化し、最終調査時（9月20日）の横径は、9.2cm（同105%）であった。

エ 果実品質

五戸の収穫時における果実熟度は、糖度と表面色及び地色は平年より高く、酸度と硬度及びでんぷんの抜けは平年より低かった。

収穫始めは、五戸で平年より6日早い9月18日、南部町で平年と同じ9月18日であった。

オ 病害虫の発生状況

全般に少なかった。

(5) うめ・あんず

【うめ（豊後）・あんず（八助）】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸（りんご研究所県南果樹部）で、うめ（豊後）が平年より2日遅い3月23日、あんず（八助）が6日早い3月29日であった。開花日は、五戸で、うめが平年より3日早い4月19日、あんずが5日早い4月19日であった。

イ 作柄

結実量は園地によりバラツキが見られたが、うめ・あんずともに概ね例年並みであった。

ウ 病害虫の発生状況

全般に少なかった。

3 気象災害

9月4～5日の台風21号により、県南地域でももの落果や樹上損傷が見られた。

※平成31年特産果樹生産情報第1号は、平成31年4月上旬頃発表の予定。

連絡先	：	りんご果樹課生産振興グループ
電話番号	：	017-722-1111代表 内線5092, 5093 017-734-9492直通